

● 講師



加地早苗プロフィール

愛知県出身。名古屋芸術大学音楽学部声楽科を首席で卒業。同大学声楽部門研究生修了。読売新聞社主催読売新人演奏会に出演。中日新聞社より中日賞受賞。大学時代は中島基晴氏に師事。

その後イタリアへ留学し、黄金時代のベルカントな歌唱で名を馳せた著名メゾソプラノ歌手ビアンカ・マリア・カゾーニ女史に師事し、正しいベルカント唱法とイタリア的な豊かな表現を学び、独自の表現力と確固たる技術を築き上げる。その後、ピエトロ・マスカーニ国際声楽コンクール優勝。ウィリアム・ワルトン声楽国際コンクール優勝を始め、

日本国内外およびコンクール入賞経験は多数。シークレ(カヴァッリ『オルミンド』)、ミカエラ(ビゼー『カルメン』)、マノン(マスネ『マノン』)、リュウ(プッチーニ『トゥーランドット』)、ラウレッタ(プッチーニ『ジャンニ・スキッキ』)、タチアナ(チャイコフスキー『エフゲニー・オネーギン』)、ベルタ(ロッシーニ『セヴィリヤの理髪師』)の諸役をレパートリーとする。トゥレデルラーゴにおいてプッチーニ・オペラフェスティバル・オペラ研修所オーディション合格後、マグダ・オリヴェーロ女史と学び奨学金を受ける。その後ソリストとしてフェスティバルに出演する。その他、ポンキエリ劇場(クレモナ)、モデナ劇場(ジェノヴァ)、ピッコロ・レージョ劇場(トリノ)、カルロ・コッチャ交響楽団、レッチェ市立ポリテアマ劇場交響楽団などイタリアを中心にヨーロッパ各地にて数多くのオペラおよびコンサートに出演。プッチーニオペラフェスティバル(トゥレ・デル・ラーゴ)ではクラウディオ・シモーネ氏と、ロッシーニ・オペラ音楽祭(ドイツ)、ストラズブル音楽祭(フランス)ではアルベルト・ゼッダ氏と、小澤征爾音楽塾およびサイトウ・キネン・フェスティバルでは小澤征爾氏を始め数多くの指揮者およびオーケストラと共演した。2013年に開催したイタリア世界遺産アンティカ劇場(サピオネータ)におけるリサイタルでは、ベルカントな歌声と品格のある歌唱をイタリアメディアに称賛された。最近では日本帰国の度に声楽マスタークラスを開催している。現在、マウロ・パガーノ国際声楽コンクール審査委員。アミーカント会員。藤原歌劇団正団員。ミラノ在住。



ジュリオ・ザッパ プロフィール

ジュリオ・ザッパ。1971年モンツァ生まれ。オレグ・マルシェフの指導を受け、ピアノ科を最優秀の成績を修め卒業。それに平行してミラノ国立大学でファウスト・マルコヴァーティとフランチェスコ・デグラダの指導のもと外国語と外国文学科で学び、ロシアオペラに関する卒論を書き、最優秀の成績で卒業。ミラノでビアンカ・マリア・カゾーニの声楽クラスで伴奏ピアニストとして研鑽を積む。アルド・チッコリーニ、アーヴィン・ゲージのもとでピアニストとして磨きをかけるが、ゲージのもとでは、常に情熱を傾ける歌曲を学ぶ。1996年から世界中で精力的にコンサート活動を行い、その傍らでヨーロッパやアジアの数多くの劇場

やフェスティバルにヴォーカルコーチとして頻繁に招待を受ける。国籍、世代を超えて100人もの様々なアーティストの伴奏を務め、アルベルト・ゼッダ、グスタフ・クーン、アントネッロ・アッレマンディ、マウリツィオ・バルバチーニ、ロベルト・リッツィ・ブリニョーリ、パトリック・フルニリエ、ミケーレ・マリオッティ、カルロ・リッツィ、マリオ・マルトーネ、ダリオ・フォー、ジョルジョ・ストレーレル、ルーカ・ロンコーニ、ミヒャエル・ハンペ、ピエール・ルイーダ・ピッツィ、ジャン＝ルイ・マルティノティ、グラハム・ヴィック等著名な演出家、指揮者とも仕事をしている。近年では、伴奏ピアニストと声楽家の教育に力を入れており、成功を収めている。ボローニャ歌劇場オペラスクール、フィレンツェのマッジョ・フィオレンティーノ歌劇場アカデミー、バルマのヴェルディ歌劇場アカデミー、マドリッド王立劇場および声楽音楽院、ハエン大学、テル・アビブのオペラ研究所、モスクワ・ボリショイ劇場アカデミーなど様々なところから招待を受けている。2012年からはテネリフェ・オペラ研究所の芸術監督を務める。オペラの若き才能を発掘するプロジェクトで、音楽指導責任者も兼務。ここ最近行った演奏と今後の予定は、ペーザロのロッシーニ・オペラフェスティバルで『リッチャルドとゾライデ』、グラインドボーンで『セヴィリヤの理髪師』と『愛の妙薬』。ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、サンクトペテルブルク・フィルハーモニアでリサイタルデビュー。ロンドン、ペーザロ、ローザンヌ、バルセロナでリサイタル、さらにモスクワ・ボリショイ劇場でのイタリア歌曲リサイタルに及ぶ。



● ウルバーニア

イタリア共和国マルケ州ペーザロ・エ・ウルビーノ県にあり、アペニン山脈とアドリア海に挟まれ、美しい自然と豊かな文化、芸術性に溢れた街です。街の観光名所は、1864年に建てられたブラマンテ歌劇場。スーパー、カフェ、ジム、レストラン、エノテカなどもあり、夏の間は、野外コンサートやイベントを楽しむことができます。また近郊には、ロッシーニ生誕地であるペーザロや、世界遺産の町ウルビーノがあります。街の住民は、親しみやすく、安全で安心して毎日を過ごせる町です。



● 宿泊先

プログラムの参加者はシェアマンションのツインルームに宿泊していただきます。一戸あたり平均4名宿泊となります。マンションは全て家具付きで、洗濯機、電化製品、台所用具、ベッド用品、タオルが用意してあります。宿泊先は学校の近くにあり、スーパー、カフェ、レストランなども近く徒歩で行けます。Wi-Fiは学校および街のバーで利用できます。マンションは一般個人所有のものですが、参加者の要望を満たし、よい環境が保てるようチェントロ・ストゥーディ・イタリアーニのスタッフが厳選しました。

